

書名 項目	新編 新しい算数	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○算数の概念を知り、考える単元では、穴埋め問題を用い、様々な習熟度の児童に対して、思考の進め方が意識づけられるような作りになっている。</p> <p>○学習したことをいつでも確認したり復習したりすることができるように、必要なページ数がわかりやすく表記されている。</p> <p>○色付き網掛けの練習問題があり、多くの問題からピックアップして取り組ませることで、普段の授業場面での時間調整や、低位層の児童へも技能の定着がしやすい。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○式、図、絵などが一括で掲載されていることが多く、それぞれを関連させて説明させる活動が多い。</p> <p>○今日の深い学びのコーナーでは複数の問題解決の方法が並べて提示されていることが多く、考え方の比較や、比較を通じた自分の考えの見直しがしやすい。</p> <p>○思考を促すせりふやヒントが、キャラクター等による吹き出しで適度に配置されており深い学びにつながる工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○日常生活から算数の世界へのつながりがスムーズであり、問いや見通しをもたせやすい導入になっている。</p> <p>○3, 4, 5, 6年生の表紙・裏表紙では、様々な職業の人が、仕事の中でどのように算数とかわかっているのかをインタビューや作品で紹介しており、算数が生活の中の様々な場面にあることを取り上げている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○デジタルコンテンツを用いて図形を動かす、動的に見せることができる。</p> <p>○プログラミングデジタル教材が充実している。</p>	
資 料	<p>○生活の中での課題を題材として取り上げられているものが多く、算数を身近に感じながら学習ができる工夫がされている。</p> <p>○授業で使うカードなどが巻末についており、学習活動が教科書で完結することができ、日々の授業づくりの手助けになる。</p>	
表記・表現	<p>○イラスト、図、枠囲みなどから考え方の違いがわかりやすく表現され、式を読む活動や、図から考えを読み取る活動、比較検討がしやすくなっている。</p> <p>○1年生①の教科書は文字が少なく、視覚的に学習問題をとらえることができるとともに、A4サイズで大きく書き込みやすくなっている。</p>	
総 括	<p>○課題発見の場面から、算数と生活のつながりを強く意識した構成になっている。</p> <p>○イラスト・図・表なども見やすく、バランス良く掲載されており、どの単元も思考を促すようなつぶやきや児童同士の対話的な活動を促す工夫があり、多様な考えを友達同士で出し合いながら学び合う姿勢を大切にすることをとおし、主体的、対話的で深い学びを意識した構成である。</p>	

書名 項目	<h1>新版 たのしい算数</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大日本</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「たしかめ問題」が単元末にあり、学習したページが示されていて、既習を振り返りやすい。 ○「よくあるまちがい」が記載されていて、つまづきを防げるようになっている。 ○「プラスワン」として練習問題の補充があり、より定着が図られるようになっている。 ○単元末で、学習で働かせた算数的な見方・考え方を確かめる問題を設定している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭でどのような考え方・見方ができるかをまとめた「ひらめきアイテム」を掲載している。 ○「じっくりふかく学び合おう」は、脚注に思考の流れが記載されていたり、写真を使い詳細に展開が示されていたりして、問題解決型学習がしやすくなっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学んだことを生かそう」や「算数たまたまぼこ」では、学んだことを生かした発展問題や生活の中の算数などが記載されおり、児童が興味・関心をもって活動に取り組めるようになっている。 ○「なるほど算数教室」で算数の面白い問題や算数を生かして仕事をされている方のインタビューが掲載されていて、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感できたりするよう工夫されている。 <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はっけん！考え方」や「ひらめきアイテム」などを設け、必要な場面で数学的な見方・考え方を働かせられるようになっている。 ○第一学年の初期学習分をA4判の分冊としており、ブロックを置いての具体的な操作活動が行いやすい。 ○単元の導入では、日常生活場面のイラストやそこに関わるセリフを掲載し、生活場面から算数の学習へとスムーズにつなぐ導入になっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「ひらめきアイテム」を巻頭に配置し、何度も繰り返し活用できるようになっている。 ○巻頭に算数の学び方、考え方、ノートの書き方が示され、思考力や表現力の育成が図られている。 ○数学的活動に使う資料のページを設け、切り取り用にミシン目がある。 ○算数用語の索引があり繰り返し活用することで用語の定着につながる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○めあて等の活動内容の色を変えることで、メリハリがついている。 ○新しい用語や記号は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○重要事項は囲みで強調され、「発見！」がついているものもある。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が興味・関心をもちやすいよう、導入場面を大きく示している。学んだことを日常生活に生かせるようにするコーナーやコラムを取り入れている。数学的な見方・考え方の要素として「ひらめきアイテム」を取り入れ、同じ見方・考え方が使える学習内容で活用できるようにしている。 ○くり返し算数的な見方・考え方を使用する場面や補助的なセリフが示されており、定着を図れる構成になっている。 	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">みんなと学ぶ 小学校 算数</h1>	<div style="text-align: center;">1 1</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">学 図</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○書き込み問題が多く、問題集のように取り組みやすい。書き込み位置も問題に近い等、書き込みやすさにも配慮がされている。 ○振り返りの問題から、次学習につながる構成になっている。 ○つまづきをなくすためにスモールステップで構成されている問題が多い。 ○教科書に広く書き込めるスペースが設けられているため、作図がしやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○立式場面で穴埋め問題が多用されており、思考の順序のガイドや立式の補助の役割が大きい。 ○単元の終わりに毎回「考え方モンスターでふりかえろう！」に取り組むことで、数学的な見方・考え方を養うことができる。 ○単元の導入が、学校生活の場面の対話の中から問題の設定をしており、児童の身近な題材と算数の関連を考えさせている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの単元も、自分の考えを説明し合い、学び合いを通して問題を解決させる流れになっている。 ○楽しい雰囲気 of 表紙の絵柄や、考え方モンスターなど学習の意欲をかきたてる工夫がみられる。 ○めあてが「～かな。」で書かれ、児童主体の課題づくりがしやすい流れになっている。 <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○算数活動の手立てとなる考え方を考え方モンスターで示している。 ○1年生から学年末にプログラミング学習が取り入れられている。 ○プログラミングの正多角形をかく活動では、はじめからタブレットで行うのではなく、紙面でも練習できるようにしている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○問題やまとめが太字になっていたり、ページ全体のフォントやポイント数に工夫がみられ、ページ全体の構成がわかりやすい。 ○6年生「中学への架け橋」別冊問題集になっている。 ○算数の用語だけでなく、用語の意味までイラストつきで示しているため覚えやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の色分けがされており、間違いを防ぎやすい表現が使われている。 ○用語の英語表記まで載っている。(5・6年巻末) 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○問いを見つけたり考え方を整理することや、共通点を見つけることを大切にしている。思考の仕方を学ぶことをとおして、論理的な考え方の育成を重視している。内容、表現、構成なども児童の目線に立った配慮がなされており、児童が主体となったり、個別最適な学びとなったりするような工夫が随所に見られる。 	

書名 項目	<h1>小学算数</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元末に「ふり返ろう」「たしかめよう」があり、既習のページが示されていて振り返りながら学習できる ○「算数ワールド」でゲーム要素を取り入れた問題を提示していて、児童が楽しみながら反復練習できるようになっている。 ○つまづきやすい問題に対して「考えるヒント」を記し、つまづきを防ぎながら学習できるよう工夫されている。 ○「算数ひろば」、「もっとやってみよう」として教科書下部に、算数に関わる語彙や考え方を補充する内容や、発展的な問題を掲載している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」として示し、学習に活用できるようになっている。 ○問題解決型学習の場面では、脚注に思考の流れが記載されていて学習がしやすくなっている。 ○「はてな、なるほど、だったら」という学習の流れを示し、それぞれの場面でどのように考えたらよいか例を示している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの中でも「はてな」をつくり、問いをもつ大切さを意識させる工夫がある。 ○算数ワールド、学んだことを使おうなど、実生活と学びをつなげる工夫がある。 <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノート表現が多様に記されているなど、図や式、言葉などを結び付けて表現する活動を多く取り入れている。 ○巻頭で、「学びの手引き」として算数的な見方・考え方について整理し、まとめている。 ○単元末に学んだことのよさを4コマ漫画で示して、児童に印象深く残し、次の問題解決に生かせるようにしている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「算数のミカタ」「算数の考え方」が示されている。 ○巻末の「学びのマップ」で既習事項のQRコードが示されていて、学年を越えて既習事項が振り返れるようになっている。 ○算数用語について索引をのせ、調べることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい用語や記号は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○重要事項は赤囲みで強調され、QRコードで「まなびリンク」の動画を見ることもできる。 ○学習の流れを、? / ! / ! ? で表現している。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○導入場面を大きく示し、児童が興味・関心もちやすくなっている。思考の流れに沿って? / ! / ! ? を使ったり、「つながるミカタ」を示したりして児童が問いを連続させることをとおし児童の思考を主体として、学習を進める構成になっている。 	

書名 項目	<h1>わくわく 算数</h1>	6 1 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">啓林館</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○本時のめあてが分かりやすく示されており、それにつながる登場人物のつぶやきが吹き出しで書かれている。</p> <p>○「もっと練習」問題は、教科書に書き込みもできるので、授業の中で柔軟に扱いやすい。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○登場人物がセリフでヒントや自力解決にきっかけになる考えを出している。</p> <p>○問題が簡潔に提示されており、わかりやすい。また、大事なポイントも焦点化されていてわかりやすい。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○学年最初に「算数で使いたい考えの進め方」のコーナーで、前学年での学習事項を例に、算数的な考え方が2・3年生は4つ。4年生以上は6つに分類されている。</p> <p>○学習を進めるキャラクターが個性的で、インクルーシブな視点を大切にしている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○「線分図を使った考え方」に重きがおかれていて、活用場面が多い。更に、線分図等の書き方がわかりやすく示され、指導・練習する場所が確保されている。</p> <p>○1年生から学年末にプログラミング学習が取り入れられている。特に1年生のプログラミングではカードの指示が2種類のみで扱いやすい。</p>	
資 料	<p>○1年生スタートブックは、文字数が少なくイラストや写真を多く使い視覚的にとらえやすい。サイズもA4サイズで書き込みがしやすい。</p> <p>○「算数ポケット」としてぼうグラフと折れ線グラフの違いを明確に表したページなどがあり、それぞれの特徴をおさえやすくなっている。</p> <p>○巻末付録が充実している。</p>	
表記・表現	<p>○挿絵や図の大きさに変化がある。大きく視覚にはたらきかけるもの。小さく載せてヒント的にみるものがある。</p> <p>○問題番号が□1、△2、□3、□4、△5…と続いており、学習の進行状況を把握しやすくなっている。</p>	
総 括	<p>○問題解決のプロセスを大切に、活用させたい数学的な見方・考え方を重視するとともに深い学びを促すためのポイントをわかりやすく提示するなど工夫されている。</p> <p>○全体的にシンプルな問題構成となっており、挿絵や図なども必要なもの絞り標記することで、児童の主体的・対話的で深い学びを促す構成となっている。</p>	

書名 項目	<h1>小学算数</h1>	1 1 6 日 文
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の初めに関連する「次の学習のために」として内容の復習問題を設けている。 ○単元末に「学習をたしかめよう」を設け、学習したページが示され、振り返りやすい。更に「算数マイトライ」としてレベルごとにページを分けた補充の練習問題を豊富に掲載している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「算数ジャンプ」で記述式の問題を扱い、思考力、表現力が育成できるようになっている。 ○数学的な見方・考え方を「学び方ガイド」でカルタのように示し、いつでも参照し数学的な着眼点に気づいて思考力表現力を身に付けやすくなっている。 ○単元ごとの確かめ問題の中に、見方・考え方をみがこのコーナーを作り、考えを表現する機会を設けている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入が身近で、ストーリー性やビジュアル性があり、課題を発見し意欲的に取り組みやすい。 ○「つかってみよう」で日常生活に学習したことを生かす課題が提示されている。 ○「なるほど算数」で算数に関するコラムが掲載され、授業とはちがう視点で算数をとらえられるようになっている。 ○「算数ジャンプ」「なるほど算数」「使ってみよう」では学習した内容を日常生活等に生かす問題がある。 <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見方・考え方」を設け、筋道を立てて考えられるようになっている。 ○吹き出しで思考の流れやヒントを示しており、児童が課題解決に向かいやすい。 ○操作的活動が行えるように巻末に資料を載せるとともに、切り取りやすいようミシン目をつけている。 ○算数の見方・考え方、学習の流れや話し合いのポイントを示した学び方ガイドを、厚紙にまとめ、普段から使いやすいように工夫されている。(2年以上) 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に算数の学び方が示されている。 ○巻末に「〇年までに学習したこと」として既習事項が示されている。 ○巻末に「学び方ガイド」がある。 ○既習事項のまとめや、算数用語の索引を掲載している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい用語や記号は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○課題やまとめ、見方・考え方についてハッキリとした色合いで示している。 ○ひっ算では升目付きの書き込める練習問題があり、位を意識しながら解くことができる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○問題ごとに「めあて」「まとめ」が記され、学習の流れが把握しやすい。イラストが多く、シンプルで見やすい。復習→単元で習得→単元のたしかめという流れになっていて、単元全体で学習の定着を図る流れになっている。 ○見方・考え方を生かしたり、操作的な活動を取り入れたりしながら学習が進められるようになっている。 	